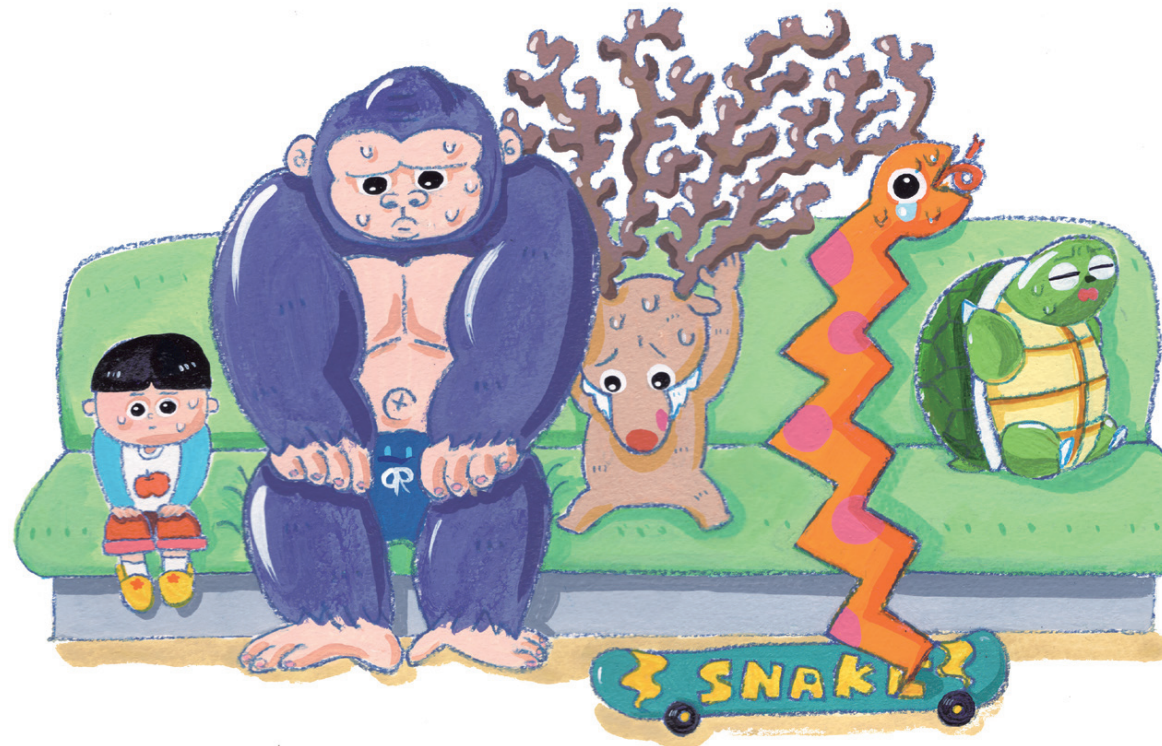


つぎのかた どうぞ〜



さく・え いそまみのり

たかしくんは びょういんの まえで どっきどき。
おおきく いきを すーっと すって
ゆっくり はあーっと はきます。
すーはー すーはー すーはっは。
おばあちゃんが おしえてくれた
ところが おちつく おまじないです。
「よし！」





まちあいしつには どうぶつたちが じぶんの ばんを まっています。
たかしくんは ごりじろうくんの となりに すわりました。



「つぎのかた どうぞ～ かめふじ かめたく～ん」
まんどりるの かんごさんの こえが ひびきます。
ドキドキどっきん！ みんなも からだが かしこちです。



「おや かめたくん きょうは どうしましたか？」
「せんせい ぼく せなかが とっても かゆいんです！」



「ふむふむ こうらで あせもに なっちゃったかな。
どれ つめた〜い こんぶを はってあげようね ほれ ペたり」

「うわああああ～～～い！ つめたくて とっても すっきり！」

「つぎのかた どうぞ～ ヘビえだ ニョ口のすけく～ん」

かめたくんは うれしくて すきっぷで かえっていきました。
たかしくんは もうすぐ じぶんのばんが くるので どっきどき。
すーはー すーはー すーはっは。
おとなりの ごりじろうくんは
あせがいっぱい こわいかお。





「おや ニョ口のすけくん きょうは どうしましたか？」
「たかいところから じゃんぷしてから
からだか ぜんぶ いたいんですっ。」

「ふむふむ れんとげんで みてみると こりゃすごい！
ぜんぶの ほねが おれとるよ。
ギプスで かためて あげようね ほれ ぐるりんちょ。」

「いええええええ～～～い！　これで　いたくなくなった！
ころりん　ころころ　こ～ろころ！」

「つぎは　となかわ　つのさぶろうくん　どうぞ～」

ニョ口のすけくんは　ニコニコえがおで　ころがっていききました。
でも　たかしくんは　もうすぐ　じぶんのばんが　くるので　どっきどき。
すーはーすーはーすーはっは。
おとなりの　ごりじろうくんは　ぷるぷるぷるぷる　ふるえています。



「おや つのさぶろうくん どうしましたか？」

「つのが もじゃもじゃのびて かたも いたいし
あたまは おもいし もうたいへんです。」

「ふむふむ こりゃすごいことになっとるな。」

「そ、それは たかえだきりばさみ…！？わ、わわわわ～～～！！」



「あらよっと ちょっきん ちょっきん ちょっきんちょ！
ついでに かわいく おはなも サービスしておくね。」





つぎは おとなりの ごりじろうくんのばん。
ふるえていた ごりじろうくんは
ついに なきだしてしまいました。

「ど、どうしたの？ ごりじろうくん。」
と たかしくんは びっくり。

「…つぎは ぼくのばん……
ぼく、…ちゅうしゃが とっても こわいんだ…」
ごりじろうくんは とっても ちいさなこえで いいました。

「じゃあ ぼくが すてきなおまじないを おしえてあげる！」



「おおきく すーっと いきを すって
ゆっくり はーっと はくんだよ。」

「せーの すーはー すーはー すーはっは。」
ふたりは いきを そろえました。



「まだ ちょっと こわいみたい。」
と ごりじろう。

「じゃあ、 もういっかい
してみよう！ セーの」
「すーはー すーはー…」

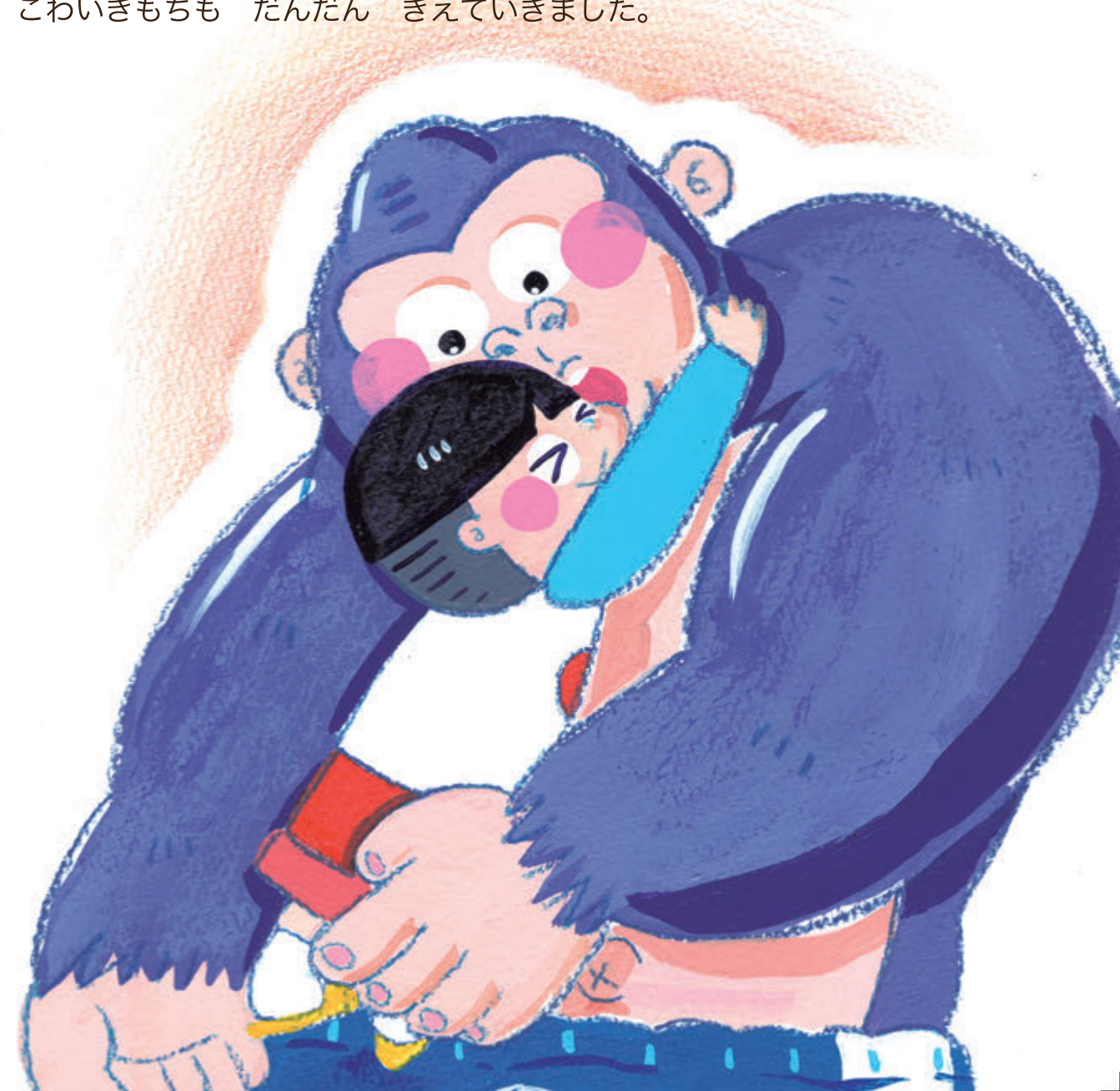


たかしくんは まだ ふるえている ごりじろうくんをみて おもわず、

ぎゅぎゅぎゅのぎゅ~~~~~！！！！

ごりじろうくんを ちからいっぱい だきしめました。

すると ごりじろうくんも、 たかしくんも なんだか こころが ぽっかぽか。
こわいきもちも だんだん きえていきました。



「もりまつ ごりじろうくん どうぞ～」
ついに ごりじろうくんの なまえが よばれます。

「たかしくん いってきます！」
「ごりじろうくん いってらっしゃい！」

ごりじろうくんは きりりとした かおで
あるいていきました。



「おや ごりじろうくん きょうは ないていないんだね！」
「うん！ きょうは たかしくんと すてきなおまじないを
したから なかないんだ。」
「ふむふむ えらいね。 じゃあ せんせいも
いたくならないように がんばらないとね！ それ ちくり」

ごりじろうくんが おおきな ちゅうしゃを がんばっているころ。

「つぎは ぼくのばんだ…。」

たかしくんは きゅうに しんぱいに なってきました。

すーはーすーはーすーはっは。

たかしくんの どきどきは どんどんどん おおきくなります。



がちゃり、と ドアが あき ごりじろうくんが かえってきました。



「たかしくん！ ぼく がんばれたよ！」と にこにこえがお。

「こんどは ぼくが おまじないを してあげる！

せーの すーはー すーはー」

「すーはー すーはー…

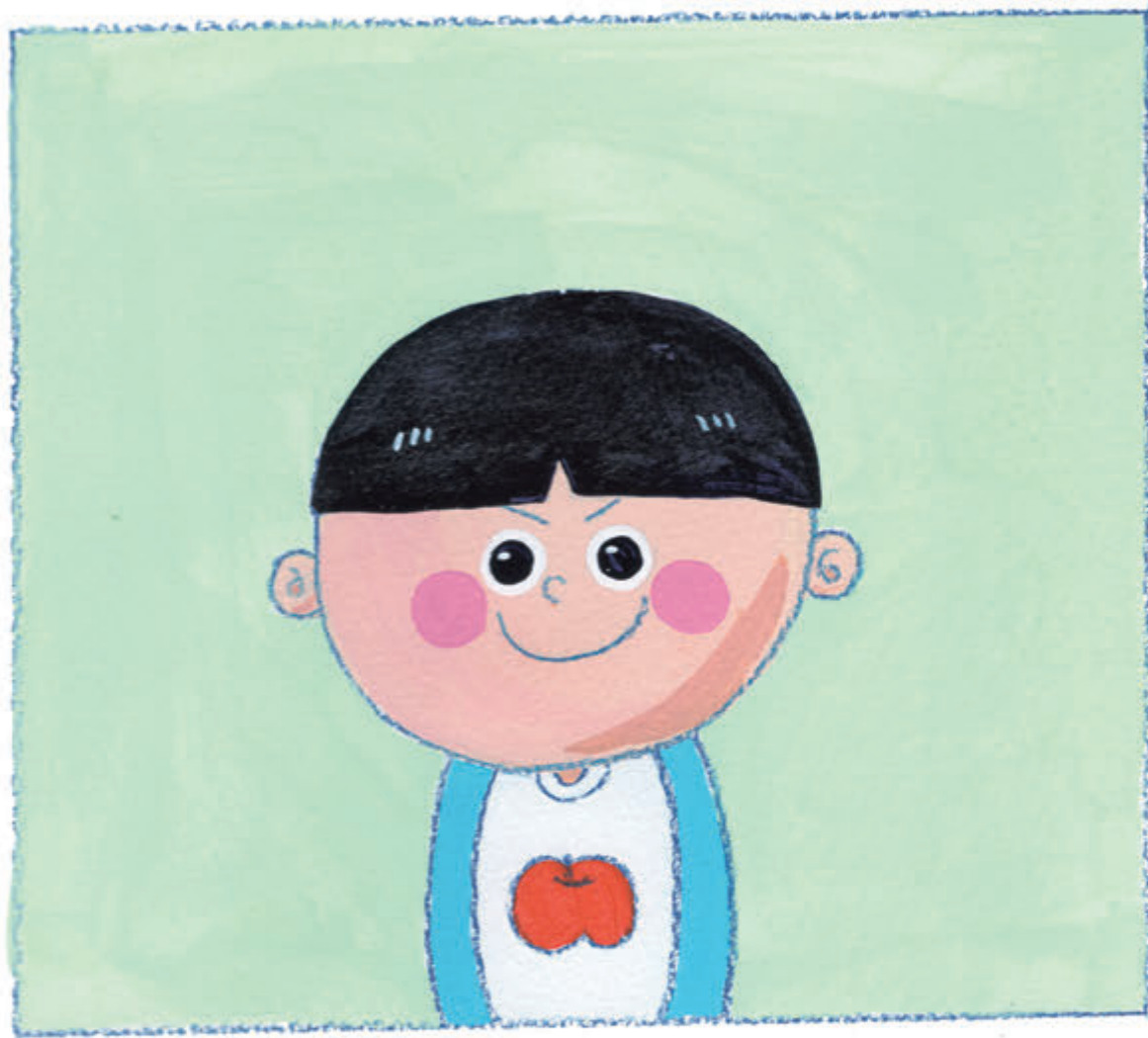


ぎゅぎゅぎゅの　ぎゅぎゅぎゅの ぎゅぎゅぎゅのぎゅ~~~~~！！

ごりじろうくんは　そういうと
たくさん　たくさん　だきしめてくれました。

「ぼくも　がんばるね！」
いつのまにか　たかしくんの
こころは　ぽかぽかです。





「せんせい、 こんにちは！」



「おや たかしくん。
たかしくんも きょうは ないていないんだね。」
せんせいは とても かわいい かおを している
たかしくんを みて にっこりと わらいました。

ISBN978-4-9909-8670-4



編集後記

「あれっ、風邪かなあ〜」

そう、何かがいつもと違う、身体が重い…。と感じても、言えないことが小さなお子さんには少なくありません。

あるいは、いつものかかりつけのお医者さんなのに、子供さんが言いにくそう、恥ずかしがる…ってありませんか？

そんな時、大人が察して代弁してあげる。…優しさですね。

でも、大人が代弁することが本当のことを表しているのでしょうか？

お子さんの身体のことですよ、どんな言葉でもいいから、まずお子さんの表現で伝えてみてはどうでしょうか？

見えなかった症状が解るかもしれません。

その上でお医者さんに診てもらいませんか？

バイエルは、すべての子供たちに「いのちとからだ」の大切さを伝えたくて、この絵本プロジェクトを企画しました。

絵本のテーマは、認定 NPO 法人ささえあい医療人権センター COML（コムル）作成による、「いのちとからだの 10 か条」を参考にしました。

作・絵は、創造社デザイン専門学校の学生さんによるものです。

つぎのかたどうぞ〜

2017 年 12 月 第 1 刷発行

作・絵：いそま みのり

発行元：バイエル薬品株式会社 大阪市北区梅田 2-4-9 06-6133-7000（代表）

協力：創造社デザイン専門学校

監修：認定 NPO 法人ささえあい医療人権センター COML（理事長：山口 育子）

印刷・製本：大光印刷株式会社

ISBN978-4-9909-8670-4

Printed in Japan

作者プロフィール

1991 年大阪生まれ

幼稚園に勤めたのち専門学校へ。

現在は会社勤めをしながら絵本制作やグッズ制作など意欲的に活動中。